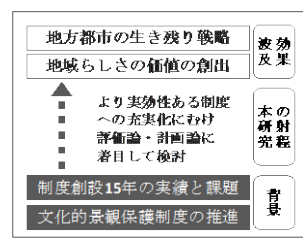


氏名 石橋 知也	役職 准教授	専門分野 景観学，都市形成史
1. 主な研究テーマ ① 都市形成に関わる歴史的な検討と政策提言 都市における政策・計画の変遷や空間の変容を明らかにすることを通じて、今後の都市政策についての提言をおこなっています。具体的には、自治体の総合計画や議会議事録、都市を巡る種々の記事等の一次資料を対象に、分析や考察を進めています。既報の関連研究は以下のとおりです。 https://doi.org/10.2208/jscejaie.70.1 https://doi.org/10.2208/jscejipm.75.6_1_287 https://doi.org/10.2208/jscejipm.76.5_1_495  ② 変化を許容した重要文化的景観の価値評価の手法と保存活用計画への適用方策の提案 文化的景観の保護制度開始より15年が経過しました。71の既選定事例を対象に調査報告書等の調査より、全体を俯瞰した分析をし、選定基準6（採掘・製造に関する景観地）を含む9事例の特徴を詳細に分析しています。「長崎県波佐見町の窯業および農業の集落景観」の保存活用計画策定を対象に、当該地区の本質的価値の導出に関わる調査ならびに検討の過程や同取り組みを調整する委員会等における論点整理をおこなっています。JSPS 科研費 JP22K14340 の助成を受けて実施しました。 https://doi.org/10.2208/jsceji.23-00095  ③ 人口減少時代における防災減災への対応・暮らしの質向上等を見据えた持続可能な市街地規模の設定に関する多面的分析 長崎都市計画における市街化区域の境界線の設定根拠に関する分類作業をおこない、長崎市特有の市街地拡大経緯を分析しています。同様に、複数の都市を対象に分析・比較検証を行い、逆線引きに効果的な分類項目・分析方法に関する研究をおこなっています。国土交通省の主導する3D都市モデルプロジェクト「PLATEAU」との連携を見据えたデータベース構築も試行する予定です。都市計画系の建設コンサルタント会社との共同研究として取り組んでいます。  ④ 公共空間のデザイン（計画・整備・活用）にかかわる実践的研究 現在、長崎市横尾地区にて9つの街区公園の再編計画に関わっており、今後その計画に基づいて公園が再整備されます。長崎市からの受託研究として実施しており、研究室にて公園再編を検討する住民ワークショップの支援や整備予定の公園の模型づくりなどに従事しています。		
2. キーワード 都市形成史，文化的景観，防災都市計画，公共空間のデザイン		
3. 特色・研究成果・今後の展望等（社会実装への展望・企業へのメッセージもあれば） 現在進行中の主なプロジェクトは以下のとおりです。 ・長崎県波佐見町における重要文化的景観選定に向けた調査（文化庁・波佐見町と連携） ・長崎市横尾地区における都市公園再編計画策定および実施設計支援（長崎市と連携） この他、自治体との景観検討業務等を多数実施しており、実践と研究の橋渡しをしています。 researchmap : https://researchmap.jp/tomoya_ishibashi 研究室 HP : https://www.cee.nagasaki-u.ac.jp/~kankyo/ 都市の将来像を描くことは自治体にとって不可欠な作業であり、歴史的な文脈に基づいて議論することでより実効性のある政策に結び付くと考えます（上記研究①と関連）。公共空間の質的向上は結果的にその都市や地域の価値を高めることにつながり、定住促進や観光振興への波及効果も期待されます（上記研究④と関連）。		